

“KOHKIN=抗菌”
日本発、世界基準へ。

適正で安心して使える抗菌加工製品を世界の人々に届けたい

SIAA
ISO22196
for KOHKIN

抗菌は SIAA マークを目印に

Good antimicrobial products. 安全・安心・抗 SIAA

SIAA(抗菌製品技術協議会)マークは、3つの安心、安全な抗菌加工製品のシンボルマークです。
Security standard for quality and safety SIAA. 安心・安全・抗 SIAA

抗菌性 安全性 適正表示

抗菌製品技術協議会によるPRポスター

新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、社会的に衛生管理への意識が急速に高まっている。印刷物も同様で、「抗菌印刷」への注目が高まり、「抗菌印刷」の認証機関である(一社)抗菌製品技術協議会(SIAA)によると、印刷会社の登録企業が増えているという。

抗菌印刷と抗ウイルスについて正しい認識が普及していないという指摘も多い。厳密には、菌(細菌)は自ら増殖するが、ウイルスは単体では増殖できないという違いがある。また「抗菌」とは、菌の増殖を抑えることを指し、「抗ウイルス」とはウイルスを不活化させることを指す。こうした特性の違いも理解して顧客先へ正しく伝え、提案していくことが求められる。

新築コーポレーションが提供する水性抗菌分散インキは、印刷物の表面に最大14日間存在すると警鐘を鳴らしていた。

ニス「Lock3」の開発・製造元であるドイツVarrco社社長のヨアヒム・フリングス専務取締役は、新型コロナウイルスの感染拡大より以前に、抗菌・抗ウイルス印刷の重要性を解いている。

フリングス氏は、感染拡大の背景について、世界規模でみると衛生環境にある人類の3分の1が適切なトイレを利用できず、多くの人が清潔な飲料水を利用できない衛生環境と指摘。糞便を介して広まる細菌の大半は病原体。中には深刻な病気を引き起こす可能性のある細菌も含まれる。こうした細菌の一部は生存し、乾いた紙や段ボールの表面で数日間生存できる。これに触れた人の手を通して、口や目に入る。インフルエンザウイルスの場合、風邪をひいた人が触れた紙やタ

社会衛生に貢献する 抗菌・抗ウイルス印刷特集

世界の共通課題「衛生」に挑む

印刷物の評価を高めるために

SIAAにおいても、安全性基準を満たしている「安全性」、基準を満たした抗菌性を持つ「効果」、抗菌剤の種類や加工部位などについて適切な表示をしているという意味の「適正」の3つを活動の指針として掲げている。つまり抗菌・抗ウイルスに取り組むことは、安心・安全で快適な社会の実現へと繋がる。加えて印刷業が、抗菌・抗ウイルス印刷に取り組むことで、印刷物が安心して利用できる衛生面でも優れたメディアであるという評価を得る。SIAAでは、「抗菌」「安全性」「防カビ」「抗ウイルス」も含め、各基準づくり、および試験方法を制定している。「抗菌」と「抗ウイルス」の安全性基準の内容は同一で、安全性試験の種類として、飲み込んだ時の毒性をみる経口毒性(急性経口毒性)のほか、長く触れたときの炎症などの刺激性(皮膚一次刺激性)、遺伝子であるDNAへの影響をみる突然変異性(変異原性)、そして

アレルギーについての皮膚感作性、の4つから成る。SIAAでは、「SIAA」マークが業界基準だが、抗菌基準をクリアした製品をわかりやすく伝えるツールに位置づける。これは認証マークの大きな役割で、認証企業にとって作業効率やコスト面でもメリットになり、提供される顧客においては安心感のバロメーターにもなる。新型コロナウイルス感染拡大以降、安心・安全を提供できることは付加価値の一つになっている。

「日本WPAセミナー資料から」

アレルギーについての皮膚感作性、の4つから成る。SIAAでは、「SIAA」マークが業界基準だが、抗菌基準をクリアした製品をわかりやすく伝えるツールに位置づける。これは認証マークの大きな役割で、認証企業にとって作業効率やコスト面でもメリットになり、提供される顧客においては安心感のバロメーターにもなる。新型コロナウイルス感染拡大以降、安心・安全を提供できることは付加価値の一つになっている。

日本WPA

抗菌印刷Webセミナー開く

水なし抗菌印刷を解説

(一社)日本WPA(田畠久義会長)は、9月9日、YouTube配信で「抗菌印刷Webセミナー」を開催した。セミナーは都インキの常務取締役 松本守氏を招き、水なし用抗菌インキを使用した「抗菌印刷」の基礎知識から印刷の実務を解説し、全国から約150人が視聴した。

冒頭、日本WPAの小川事務局長の開会挨拶の後、都インキの松本常務は「抗菌印刷について」と題

して講演。①微生物の分類と大きさ②ウイルス、細菌と反応して不活性させて増殖を抑える。エンベロープ(脂質タンパク質でできた膜)を持つタイプは銀イオンがエンベロープに付着し、他の細胞に侵入しにくくなる。エンベロープを持たな

たばく質を合成する酵素と反応して不活性させて増殖を抑える。エンベロープ(脂質タンパク質でできた膜)を持つタイプは銀イオンがエンベロープに付着し、他の細胞に侵入しにくくなる。エンベロープを持たな



松本守氏



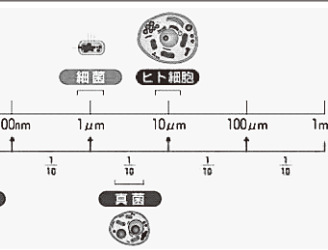
田畠久義会長

「抗菌印刷について」と題

この中で松本常務は抗菌メカニズムについて、「細菌は細胞内に取り込まれた銀イオンが分裂に必要な

「日本WPAセミナー資料から」

「日本WPAセミナー資料から」

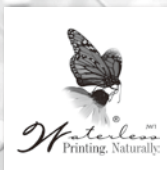


細菌(細菌は2分裂で増殖し、大腸菌の場合は約20分で2分裂)

時間	0	20分	1時間	2時間	4時間	6時間	12時間
菌数	1個	2個	8個	64個	4,092個	262,144個	6.87E+10個

水なし印刷の導入が、グリーン購入法で印刷工程における配慮項目に設定されています。

2019年度の「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律(略称:グリーン購入法)」の基本方針の「22-2印刷役務」において、オフセット印刷の印刷工程での環境配慮項目及び基準が改訂されました。VOC発生抑制の対策の一つとして「水なし印刷システムの導入」がトップに掲載されています。



環境省 大臣官房環境経済課が発行している「グリーン購入の調達者の手引き」には、バタフライロゴやバタフライCO2ロゴの説明とともに、水なし印刷の環境優位性についても掲載されています。詳しくは、以下をご覧ください。「グリーン購入法.net」<https://www.env.go.jp/policy/hozen/green/g-law/shiryou.html>

日本WPAのホームページがリニューアルされました。

一般社団法人 **日本WPA** (水なし印刷協会)

<https://www.waterless.jp/>

<https://www.facebook.com/waterlessjwpa/>

水なし WPA 検索



一般社団法人 **日本WPA** (水なし印刷協会)
Japan Waterless Printing Corporate Association

事務局
〒104-0033 東京都中央区新川1-28-44 K・Tビル
Tel. 090-8480-3274
nippon.wpa.sec@waterless.jp

